

「わがまち」の自治体経営は「安八スマートIC」を起爆剤に



安八町議会 議長

大平 文雄



あけましておめでとございます。皆さま方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、安八町議会を代表しまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

振り返ってみますと、昨年は地方自治の本旨に基づいて制定された、地方自治法が施行されて70周年という記念すべき年でありました。昨今の我が国では、本格的な人口減少局面に突入しており、地方自治体においては、財源や人材といった資源が限られていく一方、人口減少に的確に対応し、地方行財政の持続可能性を確保していくことが求められています。

さて、町の重点事業であります、「安八スマートインターチェンジ」も本年3月の供用開始(予定)に向けて、現在スマートIC本体工事や県道間アクセス道路

整備など含め工事が進められています。安八スマートICの供用開始は、今後の「わがまち」の自治体経営にとって、人口対策における起爆剤とすべきと考えます。すなわち、スマートIC周辺の土地利用を見直し、企業誘致を計画的に進めていくことが、地方行財政の持続可能性を確保していくことにつながっていくと思

います。私ども議会議員は、新年を迎え決意を新たにし、皆さまの声を的確に町政に反映させ、「安八町に住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と言っていただけけるようなまちづくりを目指し活動してまいります。

どうか本年も、格別のご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さま方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年にあたってのごあいさつとさせていただきます。

謹賀新年

安八町議会

